

地域生活総合支援センターいま地域連携推進会議録

1 日時 令和7年9月27日(土) 13:30-15:10

2 場所 地域生活総合支援センターいま

3 委員(出席者) A 氏 (支援センターいまグループホーム利用者)
B 氏 (支援センターいまグループホーム利用者家族)
C 氏 (ふたば町会会長)
D 氏 (明光ワークス所長)

支援センターいま

榎本所長 楠本グループホームサービス管理責任者 栗田事務員

4 記録 栗田事務員

5 内容

① 地域連携推進会議の目的、いま GH について

別紙資料参照

② 要望・質疑応答

A 氏：生活介護では、様々な障がいのある方が利用されていて、環境に慣れるのに時間がかかった。

また、利用者間トラブルが起らないように職員は、全利用者に目を向け、事前に対応してほしい。

所長：生活介護のサービス管理責任者に伝えて、今後は再発防止に努める。

B 氏：在宅の頃は夜間に大声を出す場面が多かったが、GH に入居してからは帰宅時の夜間に大声を出す頻度が減ってきており、落ち着いてきたと感じている。

帰宅時、送迎時に GH での様子や日中活動の様子を職員が報告してくれるので安心している。

また、本人が他利用者や職員にケガをさせていないか心配である。

サビ管：日頃の支援に効果が出てきていると感じ、とても嬉しい。

一時的に不穏になり落ち着かなくなることはあるが、職員や他利用者へ怪我をさせることはないので安心してほしい。

所長：事故の報告はないが、今後はヒヤリ・ハットの件数を増やし、些細な事例でも職員間で共有できるようにして事故防止に努めたい。

C 氏：開所にあたり不安な部分があったが、こんごう福祉センターへの見学や法人内 GH の見学の機会もあり、職員が利用者に適切な対応をしていたため、安心に繋がった。

近隣住民としては、開所から、特に迷惑に感じることもなく、安心している。

ふたば町会の住人も「いま」で何人か働いており、良好な関係が続いていると感じている。

D 氏：事業所付近の歩行や、イベントでは近隣住民の理解(イベント音量)等、地域に温かく見守られていると感じた。

GH での食事は美味しいか。

A 氏：食事は美味しい。

入居前は暴飲暴食で体重も増えていたが、入居後は体重の減少等、生活面・健康面が改善して良かったと思う。

D 氏：利用者の高齢化が進んでいるが、どのように対応を考えているか。

サビ管：利用者の残存能力の維持に努めている。介助し過ぎてしまうと出来ることまで出来なくなってしまうため、なるべく見守りを行い、自立した生活が継続できるように支援している。ただ、医療的ケアは GH では難しいので、病気になった場合は関係機関と相談して対応を考えていく。

地域生活総合支援センターいまグループホーム見学会記録

1 日時 令和7年9月27日(土) 15:15-16:15

2 場所 地域生活総合支援センターいま

グループホーム(1)ほほえみ (2) のびのび (3) かたらい
の見学会を実施した。

3 委員(見学者) A 氏 (支援センターいまグループホーム利用者)

B 氏 (支援センターいまグループホーム利用者家族)

C 氏 (ふたば町会会長)

D 氏 (明光ワークス所長)

支援センターいま

榎本所長 楠本グループホームサービス管理責任者 栗田事務員

4 記録 栗田事務員

5 見学後の意見交換

A 氏：廊下の広さ等、ホームによって違う。ほほえみホームは、自身の居室を出ると、
広い空間がある。のびのびホームは比較的広く感じた。かたらいホームは居室と手洗
いが近い。

B 氏：シャンプーを使いすぎてしまう利用者に対し、使い過ぎないようにボトルを小分
けにして支援していて安心した。

D 氏：本日は、利用者が食事等の時間と比較してもゆったりと過ごしている時間帯であ
った。

今後は、あらゆる時間帯の見学も必要だと感じる。